

青森クリーン

# 常総開発工業で本格着工

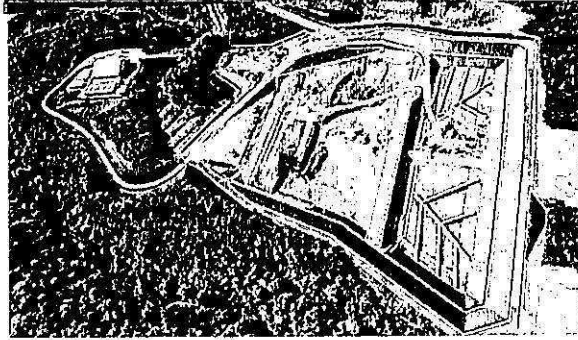
むつ

## 新最終処分場の建設

【むつ】青森クリーン（むつ市奥内字二又22地内 加藤秀人社長）は、むつ市奥内に新たな最終処分場を建設する計画で、常総開発工業（茨城県神栖市）の施工で近く本格着工する。工期は2018年12月までを見込んでおり、2019年1月からの稼働を予定している。

（町田大祐）

を建設することにしたもの。総事業費は約25億円。



新たな最終処分場は既存最終処分場（画像）北側に建設する（同社HPより）

### 水処理施設は栗田工業

新たに建設する最終処分場は、埋立面積が5万1318平方メートル、埋立容量は75万5776立方メートル。埋立期間は15年間を計画しており、埋立方式は「セル工法」に「サンドイッチ工法」を併用するほか、準好気性埋立構造を採用する。施工地はむつ市奥内字二又山地区内で、既存処分場北側に新設する。

また、併せて整備する水処理施設は、処理水量が最大で200立方メートルと、既存施設（80立方メートル／日）に比べ処理能力が3倍となる。栗田工業の施工を決めており、処分場建設の進捗状況によるが来年春頃の着工になる見通し。

同社ではこれまで、第1期（2001年）、第2期（2011年）と最終処分場の建設・拡張を行ってきたが、既存処分場の残余容量が減少していることから、新たな処分場